

MQA-CD、Roon再生、USB入力対応のDAC・プリアンプ「818v3」

Meridian 818v3

税抜価格：125万円(受注生産)

カラー：ブラック、メリディアン・シルバー

Hi-Res(ハイレゾリューション)音楽ファイルが日本でも普及して参りました。今、デジタル・プリアンプの果たすべき意味は非常に大きいものがあります。オーディオにとって最も音質に影響があると言われるスペックであるTHD&NOISEは -96dBFS以上という革新的なスペックを実現させています。まさにハイレゾリューションにもアナログにも対応した新しいインタフェースデバイスとして設計されたものです。

818はメリディアン(Meridian Audio Ltd. 英国)のフラッグシップ「800シリーズ」の最新製品の一つです。SPDIF出力(光・同軸)を持つCDプレーヤーと接続することで、MQAのハイレゾ音源をCDに収めた「MQA-CD」の再生に世界で初めて対応。また、USB DACやネットワークプレーヤー機能も併せ持ちます。また、Meridian社からスピンアウトしたRoon社のRoon再生にもいち早く対応。Roonコントローラー画面からの音量調節も可能なためリモコンを2つ持ち替えて操作する必要がありません。

シャーシは、シールド効果の高いアルミ筐体をさらに強固なアルミパネルで囲う二重構造を採用。アナログ音楽信号、デジタル信号への電磁的ノイズの影響の抑制を徹底しています。音質に悪影響を与えないローノイズ液晶ディスプレイを搭載。明るさやコントラストの微調整が行なえ中高年の目にも優しい作りです。実際、大きな部屋でリスニング位置からも視認性が非常に良くなっています。リモコン「MSR2」が付属しておりますが、主要な操作は本体フロントのシーリングパネル内からも可能です。

各ブロックごとに独立基板を持つ、一体システム構造を採用。センターボードに各ブロックを独立させた高密度基板をマウントになっているため、将来のアップデートにも柔軟に対応が可能です。実際に現在はMQA再生に対応されたバージョン3となっています。自社設計・生産の高度実装技術でノイズコントロールやシールド性能を向上。信号経路を最適・最短化するために、信号系のワイヤリングはゼロ。基板は全て高密度多層基板です。大型トロイダル電源を持つDSP処理コントローラーと言ってよいような基板構成となっています。

プリアンプとして大きい筐体を採用した理由は、何よりアナログを重視したことによります。大型トロイダルトランスによるアナログ電源：リニアパワーサプライユニットを搭載。スイッチング電源を使わず、安定かつローノイズな電源供給を実現。システム全体を低歪み化し、高調波歪み+ノイズは何と-96dBFS以下を達成。ここまで大きいプリアンプは確かに希少ですが電源部と、信号経路におけるノイズ管理を考慮すると、この筐体サイズだからこそ実現できた機能と音質があるとも言えます。リアパネルも端子群で埋め尽くされていますが、それらは各ブロックで完全に独立遮断されています。

800シリーズでは、通常のクロックシステムで使われるPLL（フェイズロックループ）ではなく、FIFOメモリー（ファーストイン・ファーストアウト）3基を用いてバッファリングすることでクロック精度を改善。クロック自体の精度を上げるためには、非常にコストがかかり外付けにすると、ケーブルによりまた（音質）ジッターが変化するなどの弊害もあります。

USB DACを搭載し、パソコンやオーディオ用 NASと接続してアシンクロナス伝送が可能。（USB AUDIO CLASS2.0準拠）DSD2.8MHz（DoP）やPCM 192kHz/24bit に対応しています。

入力端子は、同軸デジタル入力2系統で192kHz/ 24bit 対応、光デジタルも2系統で96kHz/ 24bitまでサポート。アナログ入力RCAアンバランス6系統となります。

アナログ出力はXLR-3MバランスとRCAアンバランスが各1系統。アナログ出力は固定／バリアブルに対応しプリアンプとしても、DtoA, AtoD DtoDコンバーター（固定出力）としても利用可能です。システム・コントロール用のRS- 232端子や、トリガー出力 3系統も備えおり拡張性にも配慮。その他の出力端子は同軸デジタル1系統と、メリディアン機器との接続専用のSpeakerlink 1系統です。

信号処理精度を大きく向上させたXMOS社最新の高速処理DSPチップや独自のアルゴリズムをプログラムした複数の大規模CPLDをデジタル入力および出力基板に搭載しており、中でもプリ・リングングノイズを低減させるアポダイジング・フィルターや、映像／音声同期のリップシンクに対応するなど、プリアンプとしてデジタル信号も最適化してパワーアンプに伝送するという積極的な設計思想となっています。DSDやPCM音源も時間軸情報の再現精度を高めており、マスタークオリティを目指した最先端DSP技術と入念にノイズ管理がされた電源部、アナログ回路とが高度にバランスしたフラッグシップモデルとなっております。

英国ケンブリッジの自社工場では、顔なじみの熟練者が多層高密度基板から組み立てまでハンドメイドで生産している風景がずっと変わらず継続されてきました。工業デザイナー、アランブースロイドにより外装にはガラストップと入念な意匠が施されたアルミのフロント／サイドパネルを使用しています。消費電力は最大40W。外形寸法は481x411x 175mm（幅x奥行きx高さ）重量は16kg。（MSR2リモコン付属）

プリアンプの役割という原点を見据えたときに、メリディアンがAUDIO COREと呼ぶ818 v 3は、進化したプリアンプの一つのモデルともなります。肝要なことは、アナログ入力にも、アナログ回路、電源にも入念な信号処理が施されていることです。往年のオーディオファン、メリディアンファンにも安心してお使いいただいております、日本でも800シリーズの中で最も人気の高いモデルとなっております。

※CPLD：コンプレックス・プログラムマブル・ロジック・デバイス FPGAはCPLDの一種

※本機はMQA LIMITEDの標準機として、クライアント向けのデモンストレーションに使用されています。

※18年秋より、付属リモコンのデザイン形状が変更になりました。

※保証期間：3年間（ユーザー登録により5年に延長）

■問合せ先：104-0061 東京都中央区銀座7丁目6-13 サガミビル2F

ハイレス・ミュージック株式会社 03-6805-2027

Meridian Audio 818v3

写真素材

<https://www.meridian-audio.com/en/media-centre/images-and-assets/digital-pre-amp/reference-818v3/>



Meridian Audio 818v3



【お知らせ】

2018年秋より付属リモコンのデザインが横型から縦型レイアウトに変更になりました。

【受注生産について】

デフォルトカラーはブラック。日本向けに、メリディアン：シルバーが用意されています。
以上は、定価125万円（税別）で標準納期は2ヶ月です。

また、欧州カラー規格RALに基づくカスタム・カラーでのオーダーも可能です。
ビスポークモデルとして大変ご好評をいただいております。
（税別+10万円 納期要談）

オーダー時には、カラーのご指定を弊社オーダーシートにご記入をお願いしております。
なお、恐縮ですがご発注後のカラー変更、キャンセルはお受けできません。
詳細は下記にてご確認、またお問合せくださいますようお願い申し上げます。

Meridian Audio 818v3

リアパネル

(白ベタ アナログ入力) (白枠 アナログ出力) (緑ベタ SpkerLink入力) (緑枠 同出力)



主電源はリアパネルにあり、ONすることでスタンバイ状態になります。
スタンバイ状態で信号を流さなくてもウォームアップが可能です。